

知り合いの人妻 vol. 2

# 午後の浴室



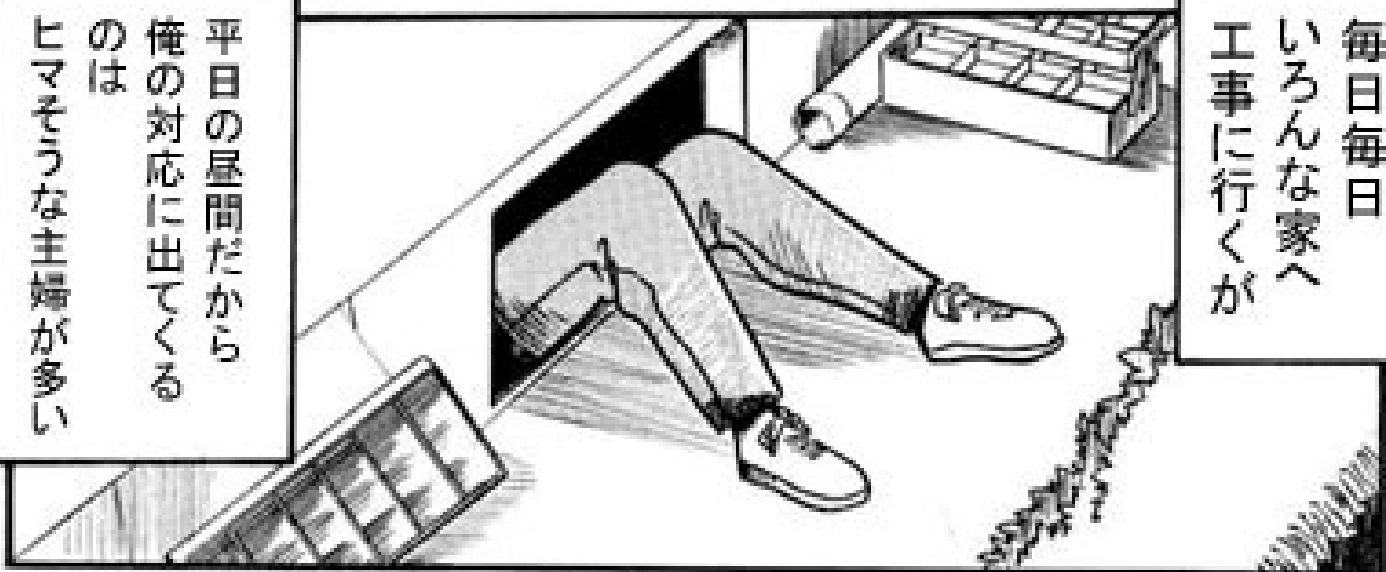
烏賊松

俺は  
排水管の工事会社で  
働いている



毎日毎日  
いろんな家へ  
工事に行くが

平日の昼間だから  
俺の対応に出てくる  
のは  
ヒマそうなお主婦が多い



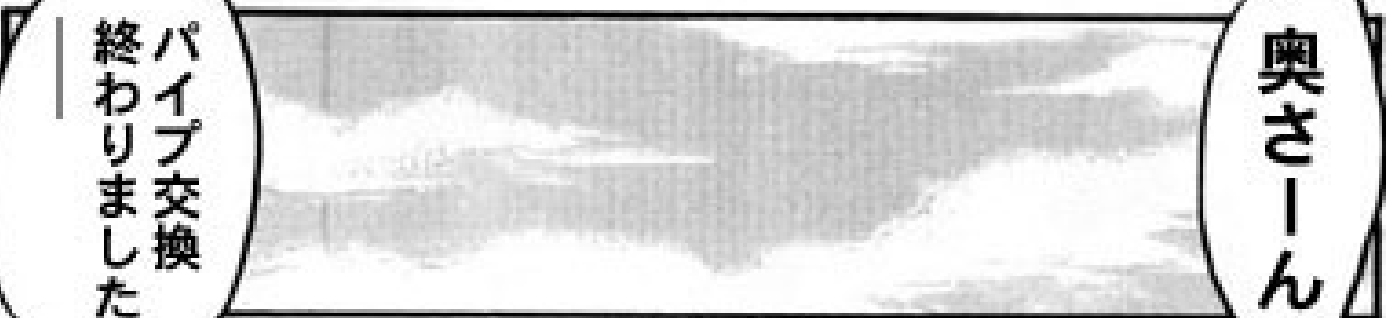
中には旦那と  
ケンタイキに入り

物欲しそうな  
目で俺を  
見つめる人妻  
なんかも  
いたりするワケで...

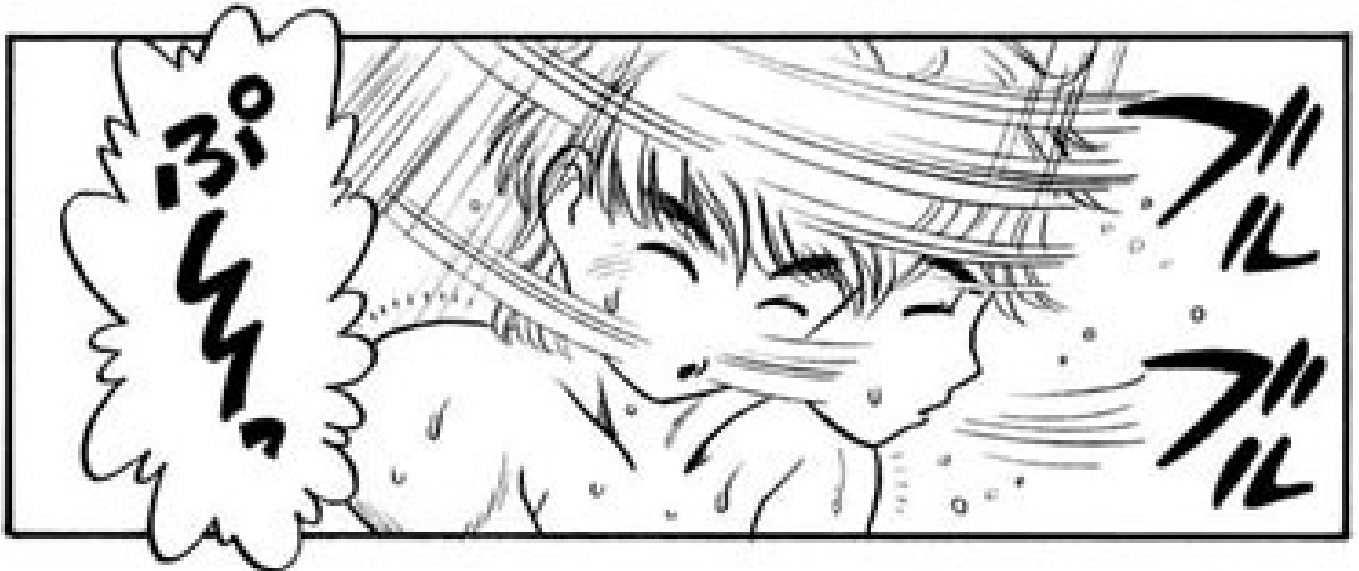


奥さーん

パイプ交換  
終わりました


















俺のチン〇を  
啜えた奥さんの

いやがしく  
垂れ下がった  
胸を見ていたら




あいつの間に  
イシてしまった  
……





そこまで言われて  
黙ってられる程  
俺は理性的じゃ  
ない


俺は一気に  
奥さんのカラダに  
むしやぶりついた



割れ目に  
指を這わせると  
すでにヌルヌル  
状態だった



オ〇コや  
ア〇ルを舌で  
突いてやるよ



奥さんは  
狂ったように  
お尻を振って  
悶えまくる

風呂場「いやらしい音を響かせながら

バックで激しく攻めてやった

奥さんはよほど男に飢えていたようで



カラダ中をよじって喜んでいる



俺みたいに行きずりの男を誘うなんて...

ハッハッハッハッ

女も歳をとると実に大胆になるモノだ...

